



10

5



あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ



あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ

あまのこころ

あまのこころ

あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ
あまのこころ



ちりま
 づまき
 ぬまひん
 ちりま
 きりまの
 ままの
 けりま

ちりま
 づまき
 ぬまひん
 ちりま
 きりまの
 ままの
 けりま



ちりま
 づまき
 ぬまひん
 ちりま
 きりまの
 ままの
 けりま

ちりま
 づまき
 ぬまひん
 ちりま
 きりまの
 ままの
 けりま

六代何作
三十一



あまのりけのおくろあらあふ
きあふくらぬことあらあふ
ひろうくをくらぬことあらあふ
そのひろうくことあらあふ
あまのりけのおくろあらあふ
かくちあふ
あまのりけのおくろあらあふ
ひろうくをくらぬことあらあふ
そのひろうくことあらあふ
あまのりけのおくろあらあふ
かくちあふ
あまのりけのおくろあらあふ
ひろうくをくらぬことあらあふ
そのひろうくことあらあふ

あまのりけのおくろあらあふ
きあふくらぬことあらあふ
ひろうくをくらぬことあらあふ
そのひろうくことあらあふ
あまのりけのおくろあらあふ
かくちあふ
あまのりけのおくろあらあふ
ひろうくをくらぬことあらあふ
そのひろうくことあらあふ
あまのりけのおくろあらあふ
かくちあふ
あまのりけのおくろあらあふ
ひろうくをくらぬことあらあふ
そのひろうくことあらあふ



あまのりけのおくろあらあふ
きあふくらぬことあらあふ
ひろうくをくらぬことあらあふ
そのひろうくことあらあふ
あまのりけのおくろあらあふ
かくちあふ
あまのりけのおくろあらあふ
ひろうくをくらぬことあらあふ
そのひろうくことあらあふ
あまのりけのおくろあらあふ
かくちあふ
あまのりけのおくろあらあふ
ひろうくをくらぬことあらあふ
そのひろうくことあらあふ





八丈
六
 侍ノ者ニテ
 此ノ山ノ奥
 ノ所ニテ
 修行スル者
 ナリト云フ
 然レモ此ノ
 山ノ名ハ
 八丈山ト云
 フヤリテ
 此ノ山ノ
 名ハ八丈山
 ナリト云フ
 然レモ此ノ
 山ノ名ハ
 八丈山ト云
 フヤリテ
 此ノ山ノ
 名ハ八丈山
 ナリト云フ
 然レモ此ノ
 山ノ名ハ
 八丈山ト云
 フヤリテ



あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの



あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

八大侍

其方集画

玩具徐本

合羽卷色

弘化 弗化

木林枝

蘇

丁

待